

1 夜間中学校開校される

映画「男はつらいよ」の主人公車寅次郎の生みの親、山田洋次監督が作った映画に「学校」があります。シリーズ計4作が制作されましたが、その1作目は「夜間中学校」が舞台でした。高校の定時制とも違う夜間中学校という学校が存在することをその時初めて知りました。令和6年度から熊本県でも夜間中学校（県立ゆうあい中学校）が開校します。入学の条件を見ると、県内在住であれば国籍は問われません。また、不登校などで思うように学校に行けなかったことで、自分には学びが足りていないという人でも、今から学力をつけたいとの思いがあれば、入学できるようです。

2 学びの場の保障とは

これまでは数校しか存在していませんでしたが、近年多くの都道府県や政令指定都市において開校が続いていて、現在開校予定も含めて44校に増えました。実は、日本には小学校しか卒業していなかったり、そもそも義務教育が未就学だったという「義務教育未修了者」が約90万人もいらっしゃるという実態が最近明らかになりました（2020年の国勢調査による）。その背景には様々な理由があると思いますが、この現実を私たちはどのように捉えればよいのか、考えるべき問題であることは確かだと思います。

人生は何度でもやり直せる、そういう社会こそ必要だと思います。挫けても何度でも立ち上がって前を向いて生きていける社会、熊本県もそういう社会づくりの一步を踏み出したと言えるかもしれません。夜間中学校という存在を理解すること、そして、それを必要としている人に伝えていくこと、学校のこれからを見守りたいものです。

熊本県立ゆうあい中学校の詳細については、県のホームページをご覧ください。



県の
ホームページ

おうちで食べたい給食レシピ！ 「にんじんごはん」



【材料（1人分）】

ごはん……………150g
にんじん……………70g
しらす干し……………10g
油……………2g
塩……………ひとつまみ
しょうゆ……………6g
みりん……………3g

【作り方】

- ① にんじんは長さ2cmほどの短冊切りにする。
- ② フライパンに油を入れ、にんじん、しらす干し、塩をふって炒める。
- ③ にんじんが柔らかくなったら、しょうゆ、みりんを味をつける。
- ④ あたたかいごはんに③を入れて混ぜ合わせたら、できあがり。

ひとくちメモ

10月10日は「目の愛護デー」です。目の健康にはビタミンAがよいといわれています。ビタミンAのもとになるカロテンはにんじんやかぼちゃなどの緑黄色野菜に多く含まれます。また、にんじんに含まれるカロテンは油との相性が良いので、油で炒めると効率よく摂取できます。

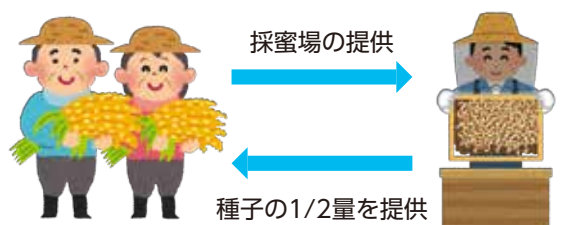
文芸広場

肥後狂句
敬老会 内緒話も太か声 井上りんどう
敬老会 病の数も自慢する 池上 沢庵
敬老会 年一回のお・も・て・な・し 高木せいや
敬老会 最高年は百五才 石原かわせみ
ひよくつと コロナが家に大事件 瀬上 歌子
ひよくつと スクラム組んだ嫁と母 二瀬 桔梗
ひよくつと せんたく板が超ボイン 庄山 道草
あわてもん 土産は汽車ではつてえた 池田 茜
あわてもん 又も着るとは裏返し 福永すみれ

かなしき原俳句会
杖も又吾が一脚や秋の風 弘子
栗飯は父の好物忌を修す 貞子
何時の間にかつくつく法師ばかりなり 誠一
八月や記憶留めし人の逝く 明
夕映への水は豊に稲の花 康子
吹き渡る風の眩しき稲の花 謙三
菊水俳句会
質上げや物価さておき秋の陣 嶋田 俊一
台風の程好く逸れてよき夜かな 池田 松子
阿蘇裾野早速稲を刈る九月 宮中 康雄
咲き満ちて零れる道や萩の花 本田美穂子

～中山間農業奮闘記 vol.15～

平野地区では16年前から緑肥作物として水田裏作でレンゲの種をまいて地力増進に努めています。しかし、近年、レンゲの種子代が高騰しているため、十分な数量を購入できない状態でした。そこで、県内の養蜂家と連携し、レンゲ種子の半分を養蜂家から提供してもらい、レンゲ開花後採蜜場として提供することで、耕種農家と養蜂家両者にメリットがある「耕蜂連携」の取組みを行うことになりました。稲刈り後にレンゲを播種し、来年の4月頃には約23haのレンゲの花咲く風景が広がる予定です。



<連携イメージ図>

和水町公民館図書室だより

中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

今回は第169回直木賞受賞作2冊と芥川賞の紹介です。みなさんの心に響いてくれたら嬉しいです。



「極楽 征夷大將軍」
著者：垣根涼介
（出版社：文藝春秋）

謎に包まれた室町幕府初代将軍 足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。やる気なし。使命感なし。執着なし。なぜこんな人間が天下を獲ってしまったのか？歴史好きにはたまらない直木賞受賞作です。



「木挽町のあだ討ち」
著者：永井紗耶子
（出版社：新潮社）

雪の夜、芝居小屋の立つ木挽町で、美少年菊之助は父親の仇討ちを成し遂げた。二年後、大事件の顛末を聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される、秘められた真相とは…。直木賞受賞作です。



「ハンチバック」
著者：市川沙央
（出版社：文藝春秋）

生きれば生きるほど私の身体はいびつに壊れていく。井沢積華は両親の遺したグループホームの十畳の自室からあらゆる言葉を送り出す。芥川賞受賞作です。